

『2019年シリウス意識の復活』

【講演へのメッセージ】

早いものであつという間に2018年が暮れていきます。

振り返れば、2018年は驚愕のインシデントの連続でした。

ほとんどすべてが「想定外」。

私たちは今後、想定されない領域を想定しないといけなくなりました。

つまり、私たちの生きるこの世界は、すでに人智を超越した中にあるということです。

人智を超越した中にある私たちは、ならば一寸先も読み解くことはできないということ。

そんな世界の中で、私たちはどうやって生きていけばよいのか？

これからの世界でもっとも大事なことは、直観を研ぎ澄ますことです。

この直観のことをリモート・ビューイングと呼んでもいい。

直観というものは「目的」、つまりターゲットをそもそも想定していない。

直観というものは突然ふとやって来るものであり、目的を絞った直観というものは、

あまり聞いたことがありません。

自身が、これまでもまったく知らないことに対して直観を得るということは、

つまり、人智を超越した先の物事を事前に知覚することができるということです。

それは、「想定外」のことを意識を介さずに潜在意識から直接受け取るということです。

しかし、その直観は受け取った人からすればまさに想定外で人智を超えているため、

それが何を意味しているのかがわからないのです。

もっと言えば、それが「直観」であるかどうかさえじつはわからないのが本当の直観です。

「虫の知らせ」を「あ、虫の知らせだ！」と気付けること。

これはじつは最高に難易度の高いことなのです。

ある直観が来たとしても、その直観が何を指し、何を意味しているのかがわからない。

ここで私たちは心の作業をする必要があります。

「まったく意味のわからないものが、果たして何なのだろうか？と思いを巡らせること」です。

まったく与り知らない、未知の、想定すらしたことのないことが何なのかを考えるのです。

そこで重要になってくるのが、普段からの様々な物事を身につけていくということです。

「学識は直観を肉付けするためにある」のです。

いくら超能力があっても、いくら霊能力があっても、基礎的な学識がなければ、

その霊的直観が何を意味しているのかが理解できないのです。

三次元物質世界的なもの嫌われる「学識」ですが、

驚いたことに、そんな物理的学識の拡大が霊力の拡大とリンクしているということです。

もともと豊富な学識を持っている人ならば、霊力拡大を凶れば最高へと至ります。

また、もともと鋭い霊力を持っているならば、学識拡大を凶れば最高へと至ります。

最高の学識を持ちながら、最高の霊力をも兼ね備えている。

そんな夢のような状況は決して夢ではありません。

世の物理的あらましを理解した上で、霊的次元で考察することが出来る状態。

まさに、多次元世界と三次元世界が高レベルで均衡している状態です。

こうした状態に自らをいざなっていくためのお話しをいたします。

最新時事情報をたくさん解説しながらも、霊的な領域を活性化していきたいと思えます。

12/16（日）、仙台天命塾でみなさんにお会いできることを楽しみにしております！！ 澤野大樹

澤野大樹（さわの・たいじゅ）さんのご紹介 1971年東京生まれ

INTUITION <http://www.intuition.jp/>

日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。

独立し、1997年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌 INTUITION』の発行が始まる。以来、19年間経った今でもその執筆は続いている。

この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブリミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。

執筆している本人に、「これから何を書くのか？」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。

通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会った初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。

そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句逃さずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて100%活字で保存されている。

また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば1000年経っても残るからだ。『情報誌INTUITION』をぜひご購入ください。

著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日 時： 2018年12月16日（日） 15時半～18時半頃（開場 15時）
- ・会 場： あわの里 天命舎 仙台市青葉区国分町3-9-32 仙台 ATOWAビル 5階 022-399-7674
- ・参加費： 5000円（仙台テンメイ会員以外&当日参加 5500円） 参加費は当日支払下さい。
- ・定 員： 20名
- ・懇親会： 講演終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。希望の方は申込下さい。
- ・申込み： 参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。
- ・問合せ： 仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300
E-mail atowa999@gmail.com 仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>

仙台天命塾 第325回オープンセミナー 参加申込書
FAX 022-279-1024

講師 澤野 大樹さん
2018年12月16日（日）

氏名		会員	TEL	
E-mail			FAX	
住所	〒			懇親会参加